

長寿企業ノウハウ学ぶ

地方創生経営者 フォーラム 県内で初開催

県内の長寿企業のノウハウを学ぶ「地方創生経営者フォーラム・岐阜」(岐阜

新聞社など後援)が27日、岐阜市長良の岐阜グランドホテルで開かれ、創業10



パネルディスカッションに登壇した洲岬孝雄社長、岡本知彦社長、中村正社長(右から)＝岐阜市長良、岐阜グランドホテル

0年以上の県内企業の社長3人が社業の秘訣について意見を交わした。「智慧の燈火プロジェクト」と東京海上日動火災保険の共催。全国各地で開催し、県内では初めて。企業の経営者ら約160人が参加した。フォーラムのパネリストには、岡本・ナベヤグループの岡本知彦社長、秋田屋本店の中村正社長、洲さきの洲岬孝雄社長の3人が登壇。岡本氏は、グループで受け継がれる番頭制を「頼りにしている共同経営者、パートナーの位置付け」と

説明した。

中村氏は、受け入れが進む外国人労働者に触れ、「企業側も選ばれる努力が必要」と強調。洲岬氏は料亭でのおもてなしについて「マニュアルはない。最後は自分で判断すること」と話していた。